2027年２月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月７日

上 場 会 社 名	株式会社天満屋ストア	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	9846	URL	https://www.tenmaya-store.co.jp
代　　表　　者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）野口　重明	
問合せ先責任者	（役職名）取締役執行役員管理本部長	（氏名）國府　慎一郎	（TEL）086-232-7265
半期報告書提出予定日	2026年10月14日	配当支払開始予定日	2026年11月９日

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年２月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年３月１日～2026年８月31日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年２月期中間期	30,016	1.6	954	△10.8	970	△14.0	691	14.8
2026年２月期中間期	29,545	0.5	1,069	△10.5	1,129	△12.3	602	△27.9

（注）包括利益　2027年２月期中間期　754百万円（　11.3%）　2026年２月期中間期　678百万円（△24.2%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年２月期中間期	60.11	―
2026年２月期中間期	52.44	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年２月期中間期	47,364	28,428	59.9
2026年２月期	45,506	27,750	60.9

（参考）自己資本　2027年２月期中間期　28,388百万円　2026年２月期　27,710百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年２月期	―	7.00	―	8.50	15.50
2027年２月期	―	10.00			
2027年２月期(予想)			―	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：無

３．2027年２月期の連結業績予想（2026年３月１日～2027年２月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	6.3	2,300	5.3	2,300	1.3	1,400	3.7	121.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

(注)詳細は、【添付資料】10ページ「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項「（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　有

④　修正再表示　　：　無

(注)詳細は、【添付資料】10ページ「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項「（会計上の見積りの変更）」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年２月期中間期	11,550,000株	2026年２月期	11,550,000株
②　期末自己株式数	2027年２月期中間期	41,660株	2026年２月期	61,135株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年２月期中間期	11,506,077株	2026年２月期中間期	11,487,283株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】３ページ「１.当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書
中間連結包括利益計算書
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 ……10
（継続企業の前提に関する注記） ……10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……10
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） ……10
（会計上の見積りの変更） ……10
（セグメント情報等の注記） ……10

１．当中間期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調を維持しました。一方で、中東情勢の不安定化に伴うエネルギー事情の逼迫の影響に加え、円安の継続や食料品を中心とした物価上昇による個人消費への影響など、先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましても、物価上昇の影響等により売上高は一定の水準を維持したものの、人件費や物流費をはじめとした各種コストの上昇に加えて、消費者の節約志向が根強く残っており、厳しい経営環境が続いております。

こうしたなか、地域のみなさまの暮らしを支え続けるべく、当社グループは販売力の強化と生産性の向上に取り組むとともに、経営基盤の強化と持続的な企業価値の向上にも努めてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の営業収益(売上高及び営業収入)は300億16百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益は９億54百万円(前年同期比10.8％減)、経常利益は９億70百万円(前年同期比14.0％減)、親会社株主に帰属する中間純利益は６億91百万円(前年同期比14.8％増)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(小売事業)

小売事業につきましては、生鮮食品を中心に主力商品のブラッシュアップと地産地消などの特色ある品揃えを行いました。また、高付加価値商品の「セブンプレミアム」の展開に加え、新販促「値下げ宣言」によるＥＤＬＰ(低価格戦略)施策の推進や「くらし良好」の導入を通じて値頃感のある商品の拡充を図ることで、生活防衛意識が高まる消費者のニーズに対応した商品供給に努めてまいりました。さらに、当社初のモール形式で新設した「天満屋ハピーズ西大寺モール」(岡山市東区)の中核として３月に「天満屋ハピーズ西大寺店」を先行オープンし、地産地消コーナーや朝市の開催などこだわりの地元食材の品揃えを強化することで、地域の食文化を広く提案する新たな発信基地としての機能を構築いたしました。あわせて、７月から各専門店が順次オープンし、ワンストップショッピングによる利便性と専門店相互の集客効果を高めることで、地域のお客様の多様なニーズへの対応とさらなる店舗価値の向上に努めてまいりました。また、６月に天満屋ハピーズ笠岡美の浜店(岡山県笠岡市)の全面改装を行い、既存店の活性化にも努めてまいりました。そのほか、地元大学との連携を通じた課題解決学習や共同商品開発を実施し、地域密着型企業としての価値向上にも注力してまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の小売事業の営業収益は259億26百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は８億12百万円(前年同期比11.3％減)となりました。

(小売周辺事業)

小売周辺事業につきましては、惣菜等調理食品の製造販売及び飲食事業が主なものであり、原材料価格高騰の影響を受けて厳しい経営環境が続くなか、引き続き徹底した品質管理と衛生管理に努めるとともに、商品開発の強化に取り組んでまいりました。株式会社三好野本店においては、３月に創業135周年を記念して「特上祭ずし」を復刻製造いたしました。また、同月に株式会社でりかエッセンにおいては、天満屋ハピーズ西大寺店に「できたておむすび米米」と「おめで鯛焼き本舗」を、さらに７月に天満屋ハピータウン玉野店に「できたておむすび米米」を新規出店いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の小売周辺事業の営業収益は40億89百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益は１億41百万円(前年同期比8.1％減)となりました。

（２）財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ18億58百万円増加し、473億64百万円となりました。これは主に、建物及び構築物の増加などにより有形固定資産が12億11百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ11億80百万円増加し、189億36百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加などにより固定負債が９億21百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ６億77百万円増加し、284億28百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年７月８日公表の業績予想からの変更はありません。

なお、今後の情勢や業績の進捗を注視し、連結業績予想の見直しが必要となった場合には、速やかに開示いたします。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年２月28日)	当中間連結会計期間 (2026年８月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	581,519	522,205
売掛金	1,559,018	1,992,162
商品	1,703,936	1,745,404
貯蔵品	25,208	21,571
その他	1,961,755	2,250,911
流動資産合計	5,831,437	6,532,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,898,071	12,869,239
土地	14,250,781	14,250,781
その他(純額)	5,611,963	3,852,623
有形固定資産合計	29,760,816	30,972,644
無形固定資産		
のれん	410,972	388,956
その他	2,626,288	2,642,231
無形固定資産合計	3,037,260	3,031,187
投資その他の資産		
差入保証金	1,426,947	1,369,442
敷金	3,147,513	3,112,586
その他	2,314,674	2,380,382
貸倒引当金	△12,400	△33,529
投資その他の資産合計	6,876,735	6,828,883
固定資産合計	39,674,812	40,832,714
資産合計	45,506,250	47,364,969

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年２月28日)	当中間連結会計期間 (2026年８月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,028,404	3,782,020
電子記録債務	343,293	328,393
短期借入金	3,171,252	2,549,140
未払法人税等	257,189	394,242
賞与引当金	124,780	133,288
その他	5,908,561	5,905,699
流動負債合計	12,833,481	13,092,783
固定負債		
長期借入金	1,064,796	1,914,300
役員株式給付引当金	37,054	40,253
退職給付に係る負債	1,107,788	1,122,431
資産除去債務	533,072	537,252
長期預り保証金	35,446	27,700
長期預り敷金	1,622,274	1,673,272
その他	521,965	528,733
固定負債合計	4,922,397	5,843,943
負債合計	17,755,878	18,936,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,750	5,347,750
利益剰余金	18,466,163	19,059,680
自己株式	△71,352	△48,622
株主資本合計	27,440,061	28,056,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	334,931	384,764
退職給付に係る調整累計額	△63,996	△52,345
その他の包括利益累計額合計	270,934	332,419
非支配株主持分	39,374	39,514
純資産合計	27,750,371	28,428,242
負債純資産合計	45,506,250	47,364,969

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年３月１日 至 2025年８月31日）	当中間連結会計期間 （自 2026年３月１日 至 2026年８月31日）
売上高	27,934,582	28,358,311
売上原価	20,087,575	21,036,137
売上総利益	7,847,006	7,322,174
営業収入	1,610,764	1,657,699
営業総利益	9,457,771	8,979,873
販売費及び一般管理費	8,388,303	8,025,834
営業利益	1,069,467	954,039
営業外収益		
受取利息	1,340	1,303
受取配当金	42,763	50,374
協賛金収入	3,496	3,210
補助金収入	23,216	―
その他	15,684	6,423
営業外収益合計	86,501	61,311
営業外費用		
支払利息	18,922	42,425
その他	7,915	2,062
営業外費用合計	26,837	44,488
経常利益	1,129,131	970,862
特別利益		
固定資産売却益	10,536	36,780
特別利益合計	10,536	36,780
特別損失		
固定資産除却損	41,454	13,579
店舗閉鎖損失	186,705	―
特別損失合計	228,160	13,579
税金等調整前中間純利益	911,508	994,063
法人税等	307,422	301,032
中間純利益	604,085	693,031
非支配株主に帰属する中間純利益	1,691	1,339
親会社株主に帰属する中間純利益	602,394	691,691

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年３月１日 至 2025年８月31日）	当中間連結会計期間 （自 2026年３月１日 至 2026年８月31日）
中間純利益	604,085	693,031
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63,745	49,833
退職給付に係る調整額	10,237	11,651
その他の包括利益合計	73,982	61,484
中間包括利益	678,068	754,516
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	676,376	753,176
非支配株主に係る中間包括利益	1,691	1,339

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年３月１日 至 2025年８月31日）	当中間連結会計期間 （自 2026年３月１日 至 2026年８月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	911,508	994,063
減価償却費	761,761	839,132
のれん償却額	38,696	22,016
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△700	21,129
賞与引当金の増減額（△は減少）	△5,288	8,508
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△4,879	31,617
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	△1,849	3,199
受取利息及び受取配当金	△44,104	△51,677
支払利息	18,922	42,425
固定資産売却損益（△は益）	△10,536	△36,808
固定資産除却損	41,454	13,579
店舗閉鎖損失	2,073	－
売上債権の増減額（△は増加）	△389,432	△433,144
棚卸資産の増減額（△は増加）	59,028	△37,831
仕入債務の増減額（△は減少）	622,366	732,269
その他	380,539	△158,367
小計	2,379,560	1,990,113
利息及び配当金の受取額	42,076	45,865
利息の支払額	△18,404	△43,771
法人税等の支払額	△267,875	△205,250
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,135,357	1,786,957
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△348,924	△2,014,933
有形固定資産の売却による収入	145,440	80,815
無形固定資産の取得による支出	△98,582	△65,910
投資有価証券の取得による支出	△593	△596
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	836	－
敷金及び保証金の差入による支出	△4,408	△335
敷金及び保証金の回収による収入	103,114	89,936
預り敷金及び保証金の受入による収入	61,028	61,149
預り敷金及び保証金の返還による支出	△78,814	△38,432
投資活動によるキャッシュ・フロー	△220,903	△1,888,306

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年３月１日 至 2025年８月31日）	当中間連結会計期間 （自 2026年３月１日 至 2026年８月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△2,440,000	△1,300,000
長期借入れによる収入	2,000,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△995,085	△472,608
リース債務の返済による支出	△175,917	△108,712
自己株式の売却による収入	1,984	22,729
配当金の支払額	△80,849	△98,174
非支配株主への配当金の支払額	△1,200	△1,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,691,067	42,034
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	223,385	△59,314
現金及び現金同等物の期首残高	571,768	581,519
現金及び現金同等物の中間期末残高	795,154	522,205

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用の計算については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計上の見積りの変更）

（退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更）

退職給付に係る会計処理における数理計算上の差異の費用処理年数については、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、当中間連結会計期間の期首より費用処理年数を８年に変更しております。

なお、この変更による当中間連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年３月１日　至　2025年８月31日)

１　報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント(千円)		合計(千円)	調整額(千円)	中間連結損益計算書計上額(千円)(注)１
	小売事業	小売周辺事業			
営業収益　(注)２					
食料品	22,421,441	3,962,047	26,383,489	―	26,383,489
生活用品	421,640	―	421,640	―	421,640
衣料品	1,094,152	―	1,094,152	―	1,094,152
その他	484,864	4,804	489,668	―	489,668
顧客との契約から生じる収益	24,422,098	3,966,852	28,388,950	―	28,388,950
その他の収益	1,156,396	―	1,156,396	―	1,156,396
外部顧客への営業収益	25,578,494	3,966,852	29,545,346	―	29,545,346
セグメント間の内部営業収益又は振替高	41,978	307,288	349,267	△ 349,267	―
計	25,620,473	4,274,141	29,894,614	△ 349,267	29,545,346
セグメント利益	915,800	153,667	1,069,467	―	1,069,467

（注）１　セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２　営業収益は、売上高及び営業収入の合計額であります。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年３月１日　至　2026年８月31日)

１　報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント(千円)		合計(千円)	調整額(千円)	中間連結損益計算書計上額(千円)(注)１
	小売事業	小売周辺事業			
営業収益　(注)２					
食料品	22,852,715	4,084,168	26,936,884	―	26,936,884
生活用品	369,829	―	369,829	―	369,829
衣料品	1,025,718	―	1,025,718	―	1,025,718
その他	497,308	5,356	502,664	―	502,664
顧客との契約から生じる収益	24,745,572	4,089,525	28,835,097	―	28,835,097
その他の収益	1,180,913	―	1,180,913	―	1,180,913
外部顧客への営業収益	25,926,486	4,089,525	30,016,011	―	30,016,011
セグメント間の内部営業収益又は振替高	47,681	361,134	408,815	△ 408,815	―
計	25,974,167	4,450,659	30,424,827	△ 408,815	30,016,011
セグメント利益	812,750	141,289	954,039	―	954,039

(注) １　セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２　営業収益は、売上高及び営業収入の合計額であります。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。